１　**（実践発表テーマ）**

姓と名の間は全角1文字スペース

二次案内に記載のもの

ご自身の発表テーマ(MSゴシック12P)

所属（都道府県から正式名称で）　氏名　○○　○○

※ここには，発表の骨子（概要）をこの枠内に入るようお書きください。（約200字程度）その下にキーワードを３～４つお書きください。発表原稿は，以下の1.～5.までの見出しで記入してください。参考文献がある場合も5として記述してください。

（本文中は、ＭＳ明朝　10.5P 見出しはMSゴシック太字12ptで記入してください。）

[キーワード]　※発表内容のポイントとなる言葉（キーワード）を３～４つ程度お書きください。

1. 実践のねらい

本文はMS明朝10.5pt

　　※ 児童・生徒に身に付けさせたい力

　　　　←研究テーマと関わって

　　※ 実践の概要　年間計画での位置づけ

　　　　上記発表概要の200字の内容を膨らます。特に「身に付けさせたい力」について

※一年間の実践を見通して

活用した機器・番組，活用の意図にふれる

項立（見出し）はMSゴシック太字12pt

1. 実践・活動の流れ・方法

　　※ 実践の構想（大まかな流れ等）

　　※１学期の実践から，発表テーマに関わる事例を示す

※ 単元全体の流れを示しつつ，１単位時間の具体的な事例を書く。

その際，

　 ※ 大会当日の発表内容につなげることを意図する。

注；下位の小見出しは、（1），①の順で設定する。その際，小見出しは、左詰めにする。

**提出〆切は９月27日（金）**

**17：00**

**各団体担当者まで**

1. この文章はダミーです。下位の小見出し設定はこのようにつけてください。
2. この文章はダミーです。下位の小見出し設定はこのようにつけてください。
3. この文章はダミーです。下位の小見出し設定はこのようにつけてください。
4. この文章はダミーです。下位の小見出し設定はこのようにつけてください。
5. この文章はダミーです。下位の小見出し設定はこのようにつけてください。
6. 実践の結果・考察

※ 実践をスタートさせてから取り組んだところまでのまとめ（９月中旬まで）

1. **今後に向けて（今後の取組）**

　※今後の取り組みは，研究を継続し，９月以降～当

日までのところは大会の補助資料にまとめて書

いても良い。

1. 参考文献

放送太郎(2008)，放送番組の研究と考察，放送研究12，p.12-18

参考文献の引用は、次のようにする．

　　(例) 放送は(2008)は………

　　　　　または　………といっている（放送 2008）

５（参考文献）はなくてもよい